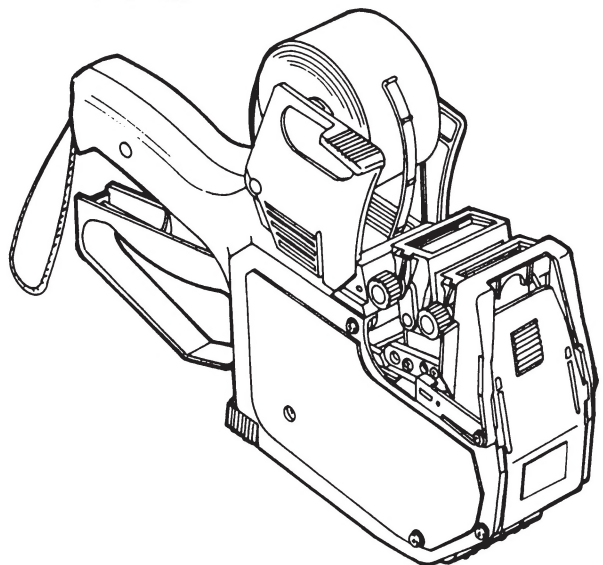
DCS & Labeling Worldwide

PB3－208 PB3－312 PB3－416 取扱説明書

ＰＢ３をお買上げ頂き誠にありがとうございました。
ハンドラベラー、ラベルについてのお問合せは全国ネットのサトーへどうぞご用命下さい。

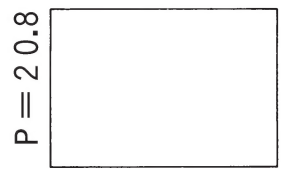
株式会社 サトー

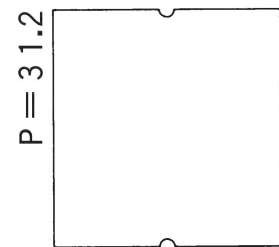
営業本部 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1丁目7番1号 ナレッジプラザ
お問い合せ先 フリーダイヤル 0120-090310
ホームページアドレス http://www.sato.co.jp

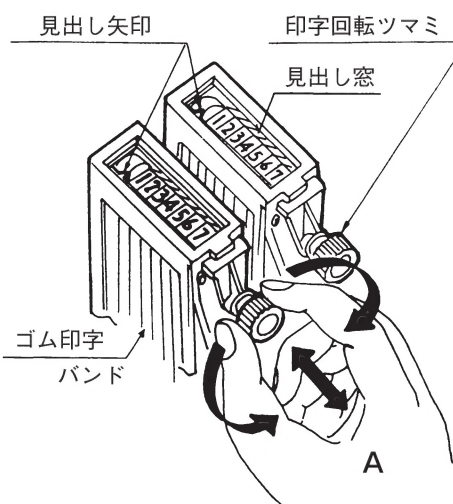
＊QC 0400104＊

初版 1990年2月
第5版 2010年8月 QC0400104

＊ PB3型ハンドラベラーはラベルによって３機種そろえてあります。ご用途に合せご活用下さい。

PB3－208型	PB3－312型	PB3－416型
W＝30	W＝30	W＝30
P＝20.8	P＝31.2	P＝41.6

←ラベルの進行方向

（ラベル実物大）

（印刷レイアウトは最寄りの代理店にご相談下さい。）

印字選択方法

① 印字回転ツマミを引き出してお望みの位置に見出し矢印を合せ、ツマミを回して目的の文字を選んで下さい。

② 印字選択が終ったら印字回転ツマミをＡ方向に２～３回出し入れすると印字が更にきれいに整列します。

③ ツマミは元の位置（押し入っている状態）に戻して下さい。

★黒いゴム印字はスタンプ用ですから黒い方が見出し窓に出ない様にして下さい。

ラベルセットと通し方 ①～⑦

＊ ラベルはかならず SATO の表示のあるラベルをご使用下さい。

ラベラーの手入れ方法

★ラベラーがインキや糊で汚れた場合はベンジンやアルコールで簡単に落せます。シンナーやトリクレン等の強力溶剤のご使用は絶対にお避け下さい。

長期間ご使用になりますと、ラベルの糊やほこりが付着し機械の故障の原因になりますので定期的な清掃が必要です。
＊下蓋を開き送りローラに付着した糊やほこりを拭き取って下さい。
＊プラテンを開き付着した糊やほこりを拭き取って下さい。

サブスタンプの着脱方法

ツマミ部
セットボス
サブスタンプ
セット穴
印字ホルダ

※サブスタンプはオプション品です。店名、品名、POP表示用にご活用下さい。

※印字内容は最寄りの代理店にご相談下さい。

○サブスタンプのツマミ部を内側につまんで印字ホルダーに差し込みます。印字ホルダの左右のセット穴にサブスタンプの左右のセットボスを合せて手を放して下さい。
これでセットは完了です。

①

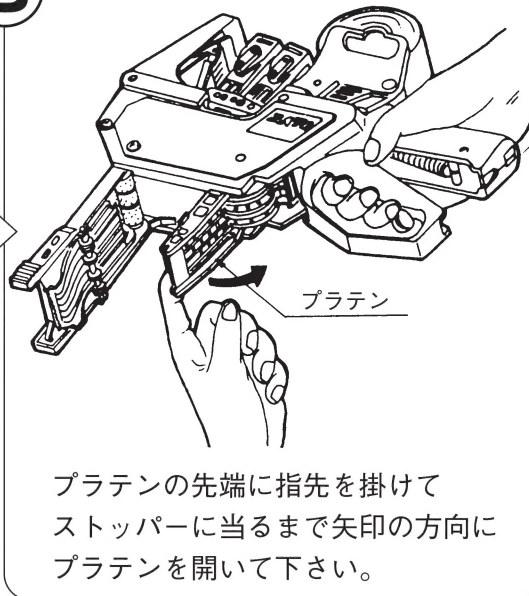
★ ラベルをセットする前に！
右図のホツレ防止を上方へ持ち上げてⒶの状態からⒷの状態にして下さい。

① ケース蓋のツマミをつまんで後方に開いて下さい。
② ラベルの端止めテープを取り除き、ホツレ防止を前方に開きながらラベル芯にラベルをセットして下さい。
③ ケース蓋を元の位置に戻して下さい。
この時「カチッ」と音がするまで押込んで下さい。

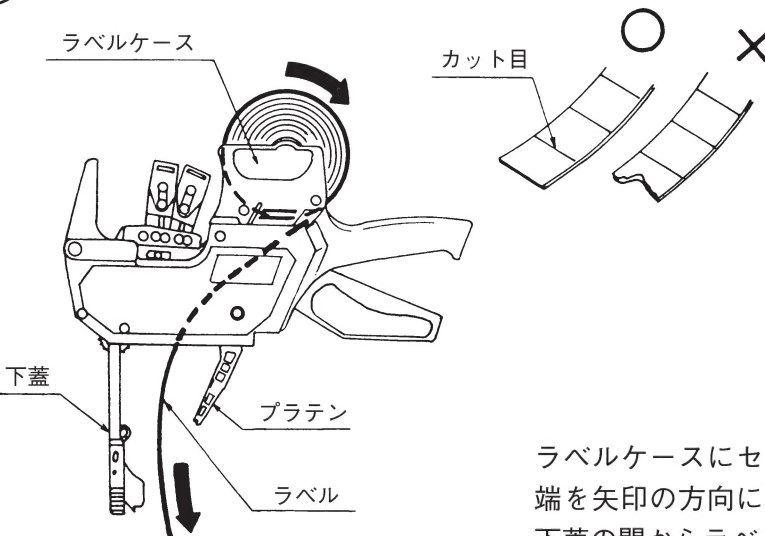
②

下蓋
下蓋のツマミ

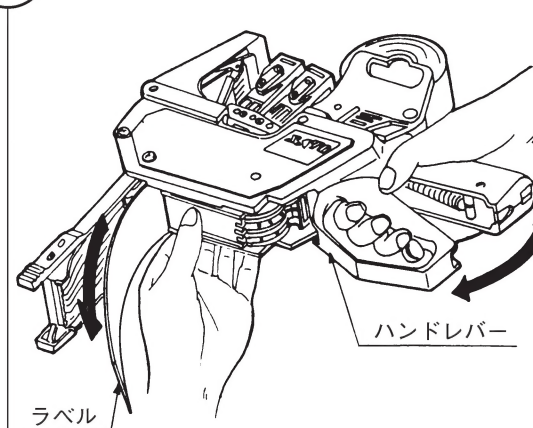
下蓋のツマミを内側につまんで下方に下蓋を開いて下さい。

③

プラテン

プラテンの先端に指先を掛けてストッパーに当るまで矢印の方向にプラテンを開いて下さい。

④

＊ラベル挿入時は先端をカット目のところできれいにカットし、まっすぐ伸してから挿入すると簡単です。

ラベルケースにセットされているラベルの先端を矢印の方向に沿って差込み、プラテンと下蓋の間からラベルを出して下さい。

⑤

① プラテンを元の位置に戻して下さい。
② そのままプラテンを軽く押えハンドレバーを握る、放すの動作を繰り返し先端のラベルが２～３枚下蓋を通り抜けるまでラベルを送り出して下さい。

⑥

ラベル

送り出したラベルの台紙からラベルをはがして下さい。

⑦

親指で台紙を下蓋にそわせながら、下蓋のPUSH部を「カチッ」と音がするまで押し、下蓋を閉じて下さい。
これでラベルのセットは完了です。

ラベラーの使い方

ハンドレバー
貼付部（ゴムローラ）

① ハンドレバーを完全に握りしめると、ラベルに印刷されます。
注）ハンドレバーの握りが不完全な場合には、きれいな印刷が出来ませんので注意して下さい。

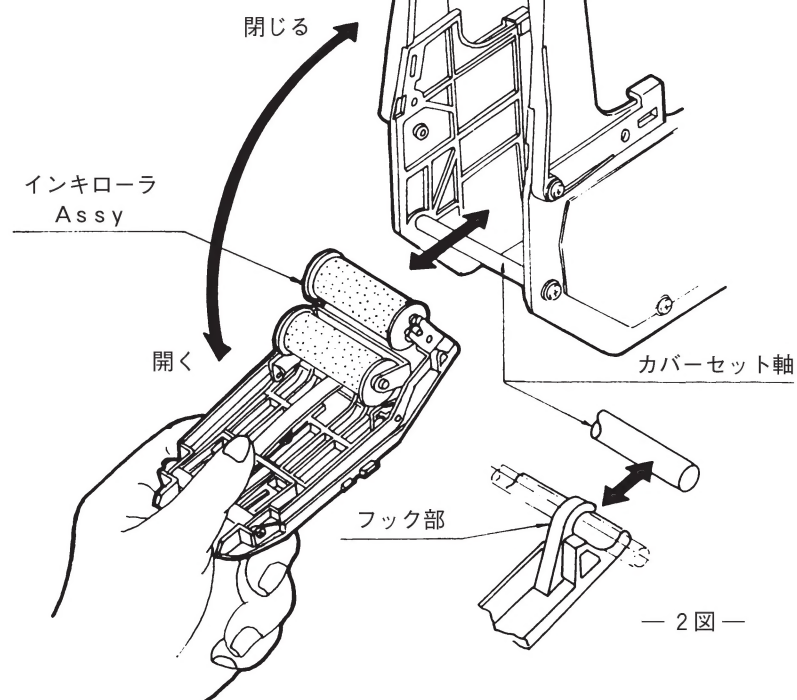
② ハンドレバーを完全に放しますと印刷されたラベルが一枚貼付部の下に送り出されます。
③ 貼付部に出て来たラベルを品物に軽く押しつけながらラベラーを後方に引いて下さい。ラベルが品物に貼付けられます。

台紙の切り取り方法

ラベルの後部にはみだした余分な台紙は下蓋後部のカッタにしっかり押しつけながら切り取って下さい。

SATO インキローラの交換方法

★インキローラはかならず SATO の表示のあるインキローラをご使用下さい。

★このインキローラは交換式です。SATO の表示がないインキローラーを使用すると故障の原因となります。

— 1図 —

（1図は2色インキローラを示します。）

① インキローラAssyの上部を指でつまんでラベラーから矢印の方向に開いて下さい。

② カバーセット軸からインキローラAssyフック部を外して下さい。

③ 新しいインキローラに交換したら②ー①の順（差込み）でセットします。

■ インキローラ前（FRONT）の交換方法

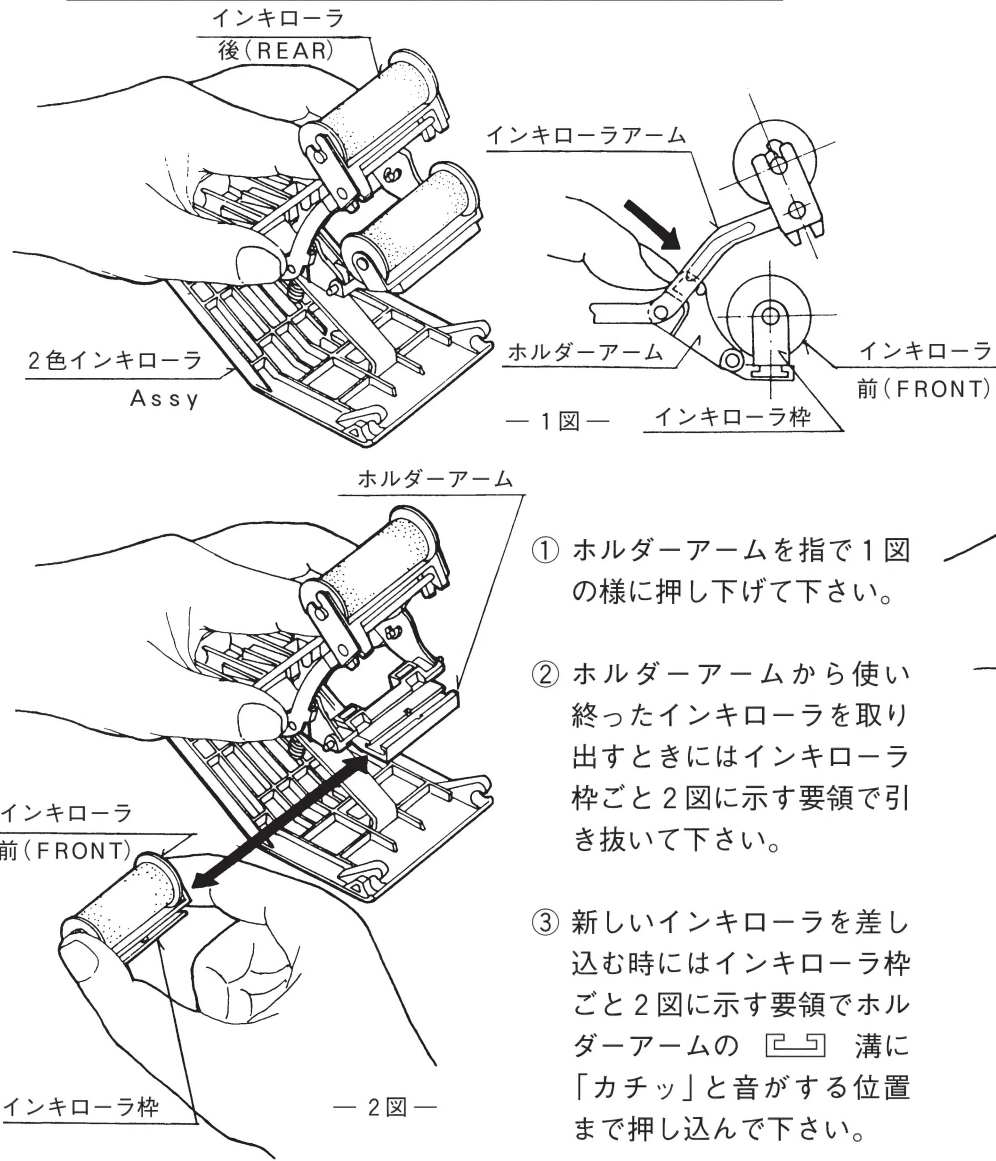
— 1図 —

ホルダーアーム

インキローラ

前（FRONT）

インキローラ枠

— 2図 —

① ホルダーアームを指で1図の様に押し下げて下さい。

② ホルダーアームから使い終ったインキローラを取り出すときにはインキローラ枠ごと2図に示す要領で引き抜いて下さい。

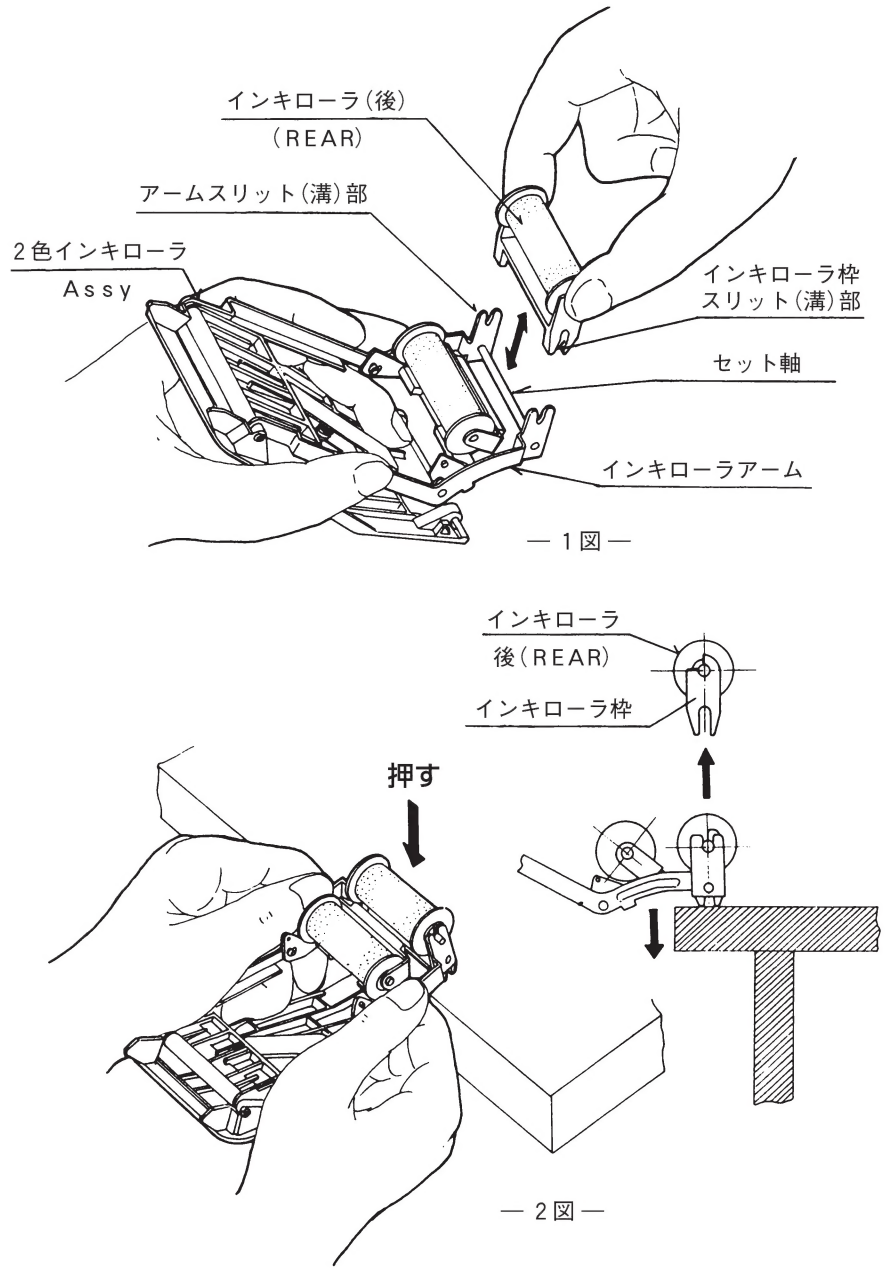
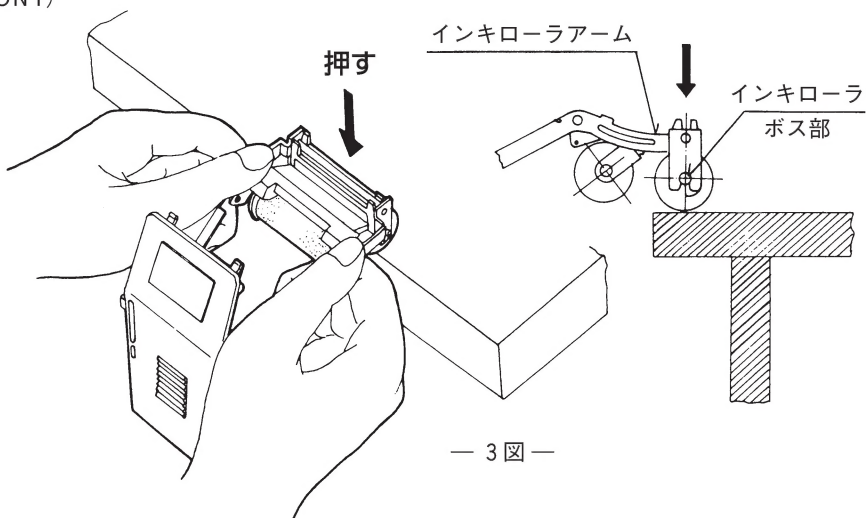
③ 新しいインキローラを差し込む時にはインキローラ枠ごと2図に示す要領でホルダーアームの 溝に「カチッ」と音がする位置まで押し込んで下さい。

◆ インキローラ2個の場合

★フロントとリアとの見分け方

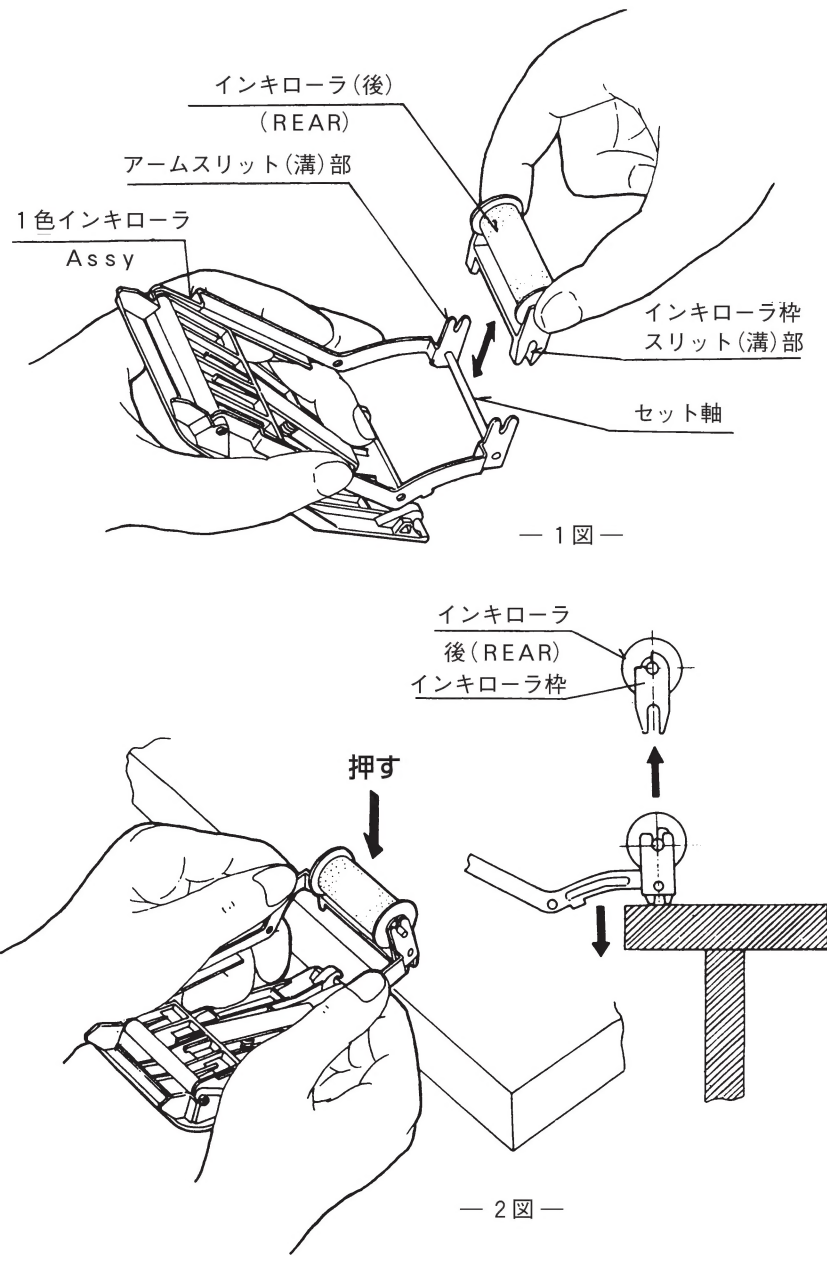
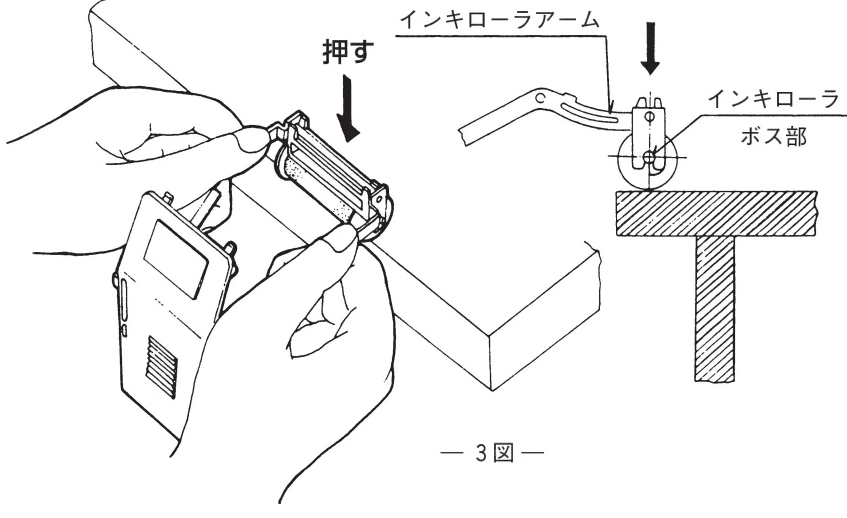
インキローラのサイドリングに'FRONT（前）''REAR（後）'と表示されています。

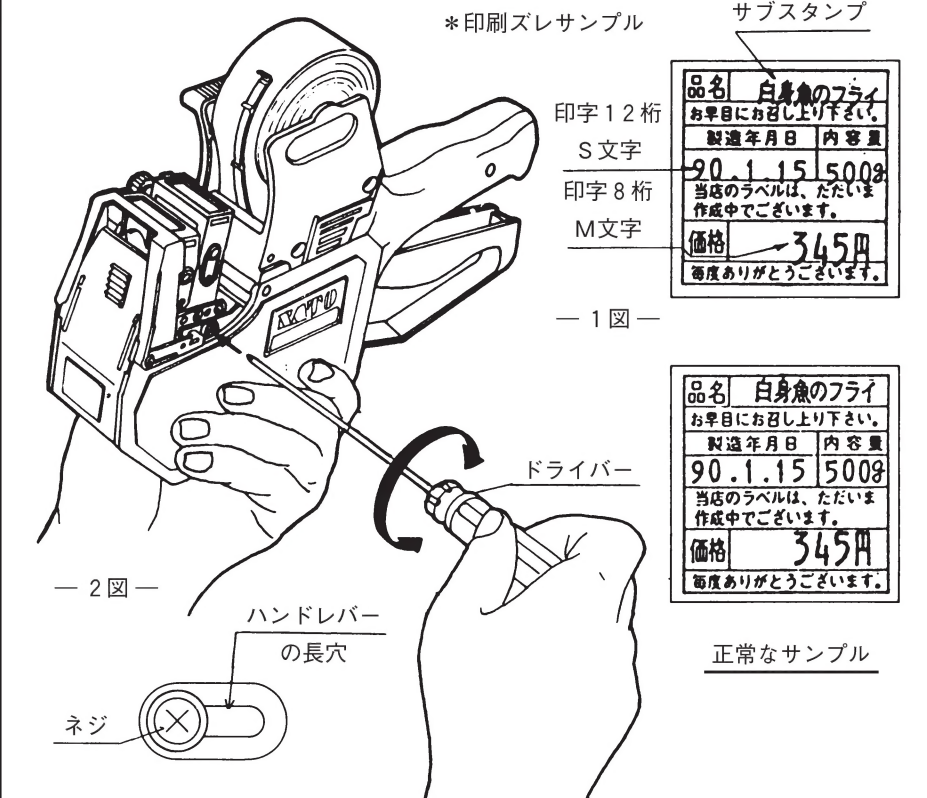
またフロントインキローラの台座はオレンジ色になっています。

■ インキローラ後（REAR）の交換方法

① 使い終ったインキローラを取り出す時には2図の様な方法でテーブル等の端にインキローラ枠を押し当て「カチッ」と音がするまで押し1図の矢印の方向に引き抜きます。

② 新しいインキローラを差し込む時には1図のセット軸にインキローラ枠のスリット（溝）を軽く差し込んで、インキローラアームのスリット（溝）にインキローラボス部が入った状態で3図の様な方法でテーブル等の端に押し当て「カチッ」と音がするまで押し込んで下さい。

◆ インキローラ1個の場合

★1色タイプはすべてリアタイプのインキローラを使用しております。

■ インキローラ後（REAR）の交換方法

① 使い終ったインキローラを取り出す時には2図の様な方法でテーブル等の端にインキローラ枠を押し当て「カチッ」と音がするまで押し1図の矢印の方向に引き抜きます。

② 新しいインキローラを差し込む時には1図のセット軸にインキローラ枠のスリット（溝）を軽く差し込んでインキローラアームのスリット（溝）にインキローラボス部が入った状態で3図の様な方法でテーブル等の端に押し当て「カチッ」と音がするまで押し込んで下さい。

■ 印字ズレの調整方法

★ハンドラベラーを過って落下した場合1図の様に印刷位置がズレる場合があります。

この場合は2図に示してある箇所の左右のネジをドライバーで緩めて左右の平行を出してからネジを締め直して下さい。

※PB3ラベラーは強化プラスチック製で堅牢な構造ですが多段印字用として高い印字精度を保つため精密加工された製品です。

本機を投げ出したり、落すことはお避け下さい。

■ ラベラーのトラブル点検表

＊この表は、普通の使い方で使用している時、起こり得る場合があるトラブルとその点検（対処）を説明したものです。
（全てのトラブルを一覧表としたものではありません）

トラブル	点検（対処）方法
●ラベルがうまく送り出さない時	○完全にハンドレバーを握って下さい。 ○もう一度取扱説明書にそってラベルを入れ直して下さい。 ○専用ラベル以外のラベルをご使用ではありませんか。 ○糊で汚れた箇所を定期的に拭き取っていますか。 ○湿気を含んだラベルをお使いになっていませんか。
●印字位置が正しくない時	○落下によって印字Assyがズレる時があります。印字ズレの調整方法を参照して下さい。
●ラベルに印字されない時	○新しいインキローラと交換して下さい。 ○完全にハンドレバーを握っていますか。 ○専用のインキローラをご使用になっていますか。
●ラベルに汚れや点みたいなものが付いた時	○貼付部（黒いゴムローラ）のインキの汚れを拭き取って下さい。

＊ラベラーご使用中にラベルがうまく送り出さない時や印字されない時は上記の点検をして下さい。

＊万一この表で解決しない場合やわからないトラブルが起った時にはお買上店にご連絡下さい。

■ ラベルの上手な使い方！

★湿気を含んだラベルをお使いになるとラベルづまりやラベルが一枚づつ切れないで印刷ズレ等の不具合が起きやすいので注意して下さい。

＊ラベルの健康管理は＊＊＊＊

★機械につけたままのラベルや袋から出したままのラベルは湿気の少ない、爽やかな風通しの良いところに保管して下さい。

★ケースの封を切ったものやケースから袋のまま出しておくときは湿気のないところや、乾燥剤の入った缶の中に保管して下さい。

★開封しないケース入りのものは湿気の少ない高い棚か台の上に保管して下さい。